

令和5年度

議会要覧



南陽市議会事務局



この市章は南陽市の「ナ」を紋章化し、市民の団結と融和を図り市の限りない発展を象徴したものです。

(昭和42年4月1日制定)

南陽市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と太陽に恵まれた南陽の市民です。

南陽市は、北に丘陵、南に沃野、すぐれた伝統と歴史をもった未来あるまちです。

わたくしたちは、このまちの市民であることに誇りをもち、より豊かな住みよいまちを築くために、力をあわせ、進んでこの憲章をまもります。

1. 緑と水を大切にし、きれいなまちをつくります。
1. 心とからだをきたえ、明るいまちをつくります。
1. きまりを守り、たすけあって楽しいまちをつくります。
1. 働くことに誇りをもち、豊かなまちをつくります。
1. 教養を深め、かおり高い文化のまちをつくります。

(昭和51年5月1日制定)

目 次

地 勢・沿 革	1
I 市 の 概 要	3
II 議 会	
1 議員の構成	4
2 議員名簿	5
3 議会の構成	6
4 議会の運営	8
5 印刷物	8
6 特別職報酬及び給料	9
7 旅費・調査費・その他	9
8 歴代議長	10
9 歴代副議長	11
10 歴代事務局長	12
11 議会事務局	12
III 議会活動状況	
1 議会開催状況	13
2 議案提出状況	14
3 議案・議決状況	15
4 請願処理状況	15
5 一般質問者数	15
6 傍聴者数	15
7 一般質問	16
8 議員発議状況及び審査結果	18
9 請願審査結果	18
10 各常任委員会等行政視察状況	18
11 行政視察来市状況	19
IV 行 財 政	
1 歴代市長	20
2 歴代助役・副市長	20
3 歴代収入役	20
4 南陽市行政機構図	21
5 令和5年度 議会費（当初予算）	23
6 令和5年度 一般会計（当初予算）	24
7 令和5年度 各会計予算	26
8 令和5年度 一般会計歳出予算（性質別予算）	27

地勢・沿革

南陽市は、東に奥羽山脈をひかえ、南から西にかけて吾妻山系と飯豊山系に囲まれた山形県南部の置賜盆地に位置し、北部は山地で南に沃野が開け気候にも恵まれており、米、野菜、果樹などの栽培に適している。

また、風光明媚な県南県立自然公園や赤湯温泉など、豊富な観光資源を有する地理的条件に恵まれ、鉄道道路交通網にも恵まれた県南地方の要衝の地にある。

市内の長岡丘陵からは、約1万数千年位前（旧石器時代）の石器が発見されており、既にこの頃には人間が住んでいたと考えられ、この当時の人口は、今の南陽市地域では、おそらく10人とか20人位であったと考えられる。

土器を使うようになった縄文時代（約12,000～2,000年位前）の遺跡は、須刈田の大野平遺跡や宮内の久保遺跡など市内に70カ所以上あり、当時の住居跡や土器（生活用具）石器（生産、狩り、信仰の用具）など数多く発見されている。

今から約2,000年位前（弥生時代）になると、菰生田出土の石包丁（石製の穂つみ具）が示すとおり、この地方にも稲作文化が伝わった。

農業生産力が高まった次の古墳時代（4～8世紀）には、はじめに長岡の稲荷森古墳（全長96mの前方後円墳、国指定史跡）、その後に上野や二色根地区の小型の古墳がつけられた。

奈良時代、平安時代（8～12世紀）には、政治や行政の仕組みも大分整い、市内郡山地区には当時の郡役所があったと考えられている。

また、宮内の熊野大社や、赤湯の薬師寺の創建も9世紀ごろと伝えられているように、仏教文化が栄えるとともに、文字、税など、今の生活の原形がつけられた時代である。

武家政治の鎌倉時代（1192年～）には、幕府は大江時広を当地方（長井荘）の地頭に任じ、以後八代もその支配は続いた。

また、このころからこのあたりを北条郷と呼んでいたことが古文書からうかがい知ることができる。

14世紀、室町時代になると、天授6年（1380年）、伊達氏の支配に変わる。これらの時代の仏教信仰の深さは、竹原の「正元元年大日板碑」（県内最古、県指定）他、数多い板碑などによりしのばれる。

戦国時代にかけての伊達氏の支配は、宗遠から独眼竜として知られる政宗が岩出山に移封されるまで211年間も続いた。

のち、蒲生氏が7年間支配、1598年から明治維新にいたるまで上杉氏の支配となる。この時代に市内各地の特色が生まれた。

明治2年、版籍奉還とともに上杉茂憲が藩知事に任ぜられたが、地方は従来どおり代官制であった。

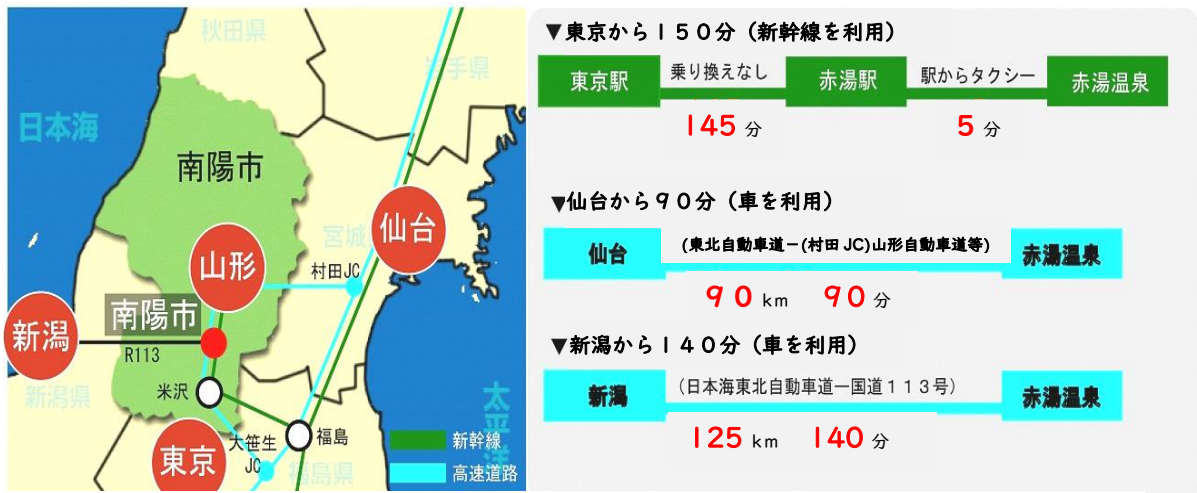
明治4年7月廃藩置県によって米沢県に、同年11月置賜県と改められるとともに五郡制を廃し27区小区に分割、明治6年28区小区に分けた。

昭和30年、宮内町、漆山村、吉野村、金山村が合併し宮内町、沖郷村と梨郷村が合併し和郷村、赤湯町と中川村が合併し赤湯町となった。

昭和42年4月1日、宮内町、赤湯町、和郷村の2町1村が合併し、山形県下13番目の市、南陽市が発足した。

新市名については、当時の県知事安孫子藤吉氏が名づけ親となり、「南陽の菊水」から「北に丘陵・南に沃野、まことに住みよいところ」の字義をもって「南陽市」と命名された。

アクセスマップ



車をご利用の方

- ◇東京……(東北自動車道 約4時間)……福島大笹生 IC……(東北中央自動車道 約40分)……南陽高畠 IC……南陽市
- ◇新潟……(国道113号 約2時間20分)……南陽市
- ◇仙台……(東北自動車道-山形自動車道-東北中央自動車道 約1時間30分)……南陽高畠 IC……南陽市
- ◇仙台……(東北中央自動車道 約30分)……白石 IC……(国道113号 約1時間20分)……南陽市

列車をご利用の方

- ◇JR 東京駅……(山形新幹線 約2時間30分)……赤湯駅

空港をご利用の方

- ◇山形空港……東根 IC……(東北中央自動車道 約50分)……南陽高畠 IC……南陽市
- ◇仙台空港……名取 IC……(仙台東部道路 約20分)……仙台南 IC……(東北自動車道-山形自動車道-東北中央自動車道 約1時間30分)……南陽高畠 IC……南陽市

I 市の概要

- 1 市制施行 昭和42年4月1日
- 2 人口 29,703人(男14,404人・女15,299人)
世帯数 11,478世帯
(令和5年4月1日現在)
- 3 面積 160.52km²

土地利用状況(地目別面積)

(単位: km²)

田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他	計
19.71	13.98	8.96	0.20	80.70	0.46	3.84	4.60	28.07	160.52

令和4年1月1日現在

4 産業別就業者数

年次 産業	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
総数	18,089	100%	16,344	100%	16,419	100%	16,289	100%
第1次	2,234	12.3	1,840	11.3	1,696	10.3	1,537	9.4
第2次	6,055	33.5	5,217	31.9	5,368	32.7	5,180	31.8
第3次	9,734	53.8	9,123	55.8	9,309	56.7	9,572	58.8
分類不能	66	0.4	164	1.0	46	0.3	—	—

(国勢調査より)

5 都市形態 平地農村都市

6 市の木(さくら)



◎赤湯温泉桜まつり

日本古来から愛され、春を象徴する花として市民のだれもが親しみ、心のよりどころとしてきた樹木で、昭和62年4月1日、市の木として制定。

市の花(きく)



◎菊まつり

伝統ある“南陽の菊まつり”にちなみ、市の花としてふさわしく、昭和62年4月1日、市の花として制定。

Ⅱ 議 会

1 議員の構成

(1) 議員数

条 例 定 数	17人	(平成24年の一般選挙より)
現 員 数	17人	

(2) 任 期

現 議 員	令和2年4月1日～令和6年3月31日
正 副 議 長	議員申し合わせにより2年(再任妨げない)
常 任 委 員 会	委員会条例第3条により2年
議 会 運 営 委 員 会	常任委員の任期に準用

(3) 党派別議員

(令和5年4月1日現在)

党 派 別	人 員	会 派 別	人 員
自由民主党	1	政 風 会	4
公 明 党	1	保 友 ク ラ ブ	3
日本共産党	1	倫 政 会	2
立憲民主党	1	真 政 会	3
無 所 属	13	会派に所属していない議員	5
計	17	計	17

(4) 年齢別議員数

(令和5年4月1日現在)

年齢 (歳)	～50	50 ～55	56 ～59	60 ～65	66 ～69	70 ～75	76 ～79	80～	計
人員	0	0	1	2	3	6	4	1	17

・最低年齢57歳 ・最高年齢83歳 ・平均年齢71歳

(5) 当選回数別議員数

(令和5年4月1日現在)

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
人員	2	2	4	4	2	1	0	0	2	17

2 議員名簿

議 長 船 山 利 美

副議長 梅 川 信 治

議 席 順

(令和5年4月1日現在)

NO	議員氏名	生年月日	年齢	住 所	電 話	所属政党	当選
1	伊 藤 英 司	S37. 10. 23	6 0	南陽市長岡632-4	43-4234	公明党	1
2	佐 藤 憲 一	S21. 11. 26	7 6	南陽市高梨429-1	43-2134	無所属	1
3	山 口 裕 昭	S40. 8. 14	5 7	南陽市若狭郷屋848-22	40-2506	無所属	2
4	島 津 善衛門	S29. 1. 28	6 9	南陽市金山735	45-3409	無所属	2
5	高 岡 亮 一	S22. 5. 22	7 5	南陽市宮内3572	47-2202	無所属	3
6	高 橋 一 郎	S31. 1. 7	6 7	南陽市櫛塚587-10	43-2559	立憲民主党	3
7	船 山 利 美	S29. 2. 22	6 9	南陽市梨郷1298-2	47-7672	無所属	3
8	山 口 正 雄	S23. 11. 2	7 4	南陽市宮内2421-16	47-3740	無所属	3
9	片 平 志 朗	S27. 7. 31	7 0	南陽市宮内2992-1	47-4828	無所属	4
10	梅 川 信 治	S24. 7. 29	7 3	南陽市三間通1222-9	43-3651	無所属	4
11	川 合 猛	S22. 1. 25	7 6	南陽市川樋2745-内2	49-2648	無所属	4
12	高 橋 弘	S21. 10. 17	7 6	南陽市下荻353-1	41-2207	無所属	4
13	板 垣 致江子	S27. 4. 3	7 0	南陽市蒲生田1370-3	47-4521	無所属	5
14	高 橋 篤	S27. 1. 16	7 1	南陽市蒲生田867	47-2508	無所属	5
15	遠 藤 榮 吉	S33. 8. 25	6 4	南陽市宮内386	47-2861	無所属	6
16	佐 藤 明	S20. 9. 25	7 7	南陽市二色根79-4	43-6199	日本共産党	9
17	殿 岡 和 郎	S14. 10. 2	8 3	南陽市荻830	41-2440	自由民主党	9

3 議会の構成

(1) 常任委員会

委員会	定数 (人)	現員 (人)	所管事項
総務	5	5	総務課、みらい戦略課、財政課、税務課、総合防災課、会計課、選挙管理委員会事務局及び監査委員事務局の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項に関する調査及び議案、請願、陳情等を審査する。
文教厚生	6	6	市民課、福祉課、すこやか子育て課及び教育委員会事務局の所管に属する事項の調査及び議案、請願、陳情等を審査する。
産業建設	6	6	農林課、商工観光課、建設課、上下水道課及び農業委員会事務局の所管に属する事項の調査及び議案、請願、陳情等を審査する。

(2) 委員会名簿

(令和5年4月1日現在)

総務常任委員会(5)		文教厚生常任委員会(6)	
委員長	山口裕昭	委員長	片平志朗
副委員長	板垣致江子	副委員長	佐藤憲一
委員	高岡亮一	委員	伊藤英司
委員	舩山利美	委員	梅川信治
委員	高橋篤	委員	高橋弘
		委員	遠藤榮吉

産業建設常任委員会(6)			
委員長	島津善衛門	副委員長	高橋一郎
委員	山口正雄	委員	川合猛
委員	佐藤明	委員	殿岡和郎

議会運営委員会（５）		議会報編集委員会（６）	
委員長	山口正雄	委員長	伊藤英司
副委員長	遠藤榮吉	副委員長	山口裕昭
委員	山口裕昭	委員	佐藤憲一
委員	高橋一郎	委員	島津善衛門
委員	高橋弘	委員	高岡亮一
		委員	高橋一郎

○ 置賜広域行政事務組合議会議員

船山利美 山口裕昭 川合 猛

○ 置賜広域病院企業団議会議員

船山利美 島津善衛門 山口正雄

○ 監査委員 高橋 篤

○ 会派会長 ・政風会 山口正雄 ・保友クラブ 島津善衛門

・倫政会 殿岡和郎 ・真政会 片平志朗

（３）特別委員会

委員会名	設置年月日	構成	設置目的
予算特別委員会		議長を除く全議員 16人	一般会計、特別会計、企業会計とも予算案の審査を行う。
決算特別委員会		議長と議会選出の監査委員を除く全議員15人	一般会計、特別会計、企業会計とも9月定例会で決算案の審査を行う。
議会ICT推進特別委員会	R4.6.21	5人	議会運営の効率化と議会・議員活動の一層の活性化を図る。
議会機能等検討特別委員会	R5.4.21	6人	議員定数、報酬及び議員としての倫理強化などに関する調査研究を行う。

（４）議員全員協議会

市政及び議会全般に係る事項に関し協議又は調整を行う。

（５）会派会長会

各会派間の意見の調整、連絡又は諸協議を行う。

4 議会の運営

(1) 議会運営委員会

- ・委員数…………… 5人
- ・構成…………… 会派の所属議員数での按分
- ・開催時期…………… 原則、議会開会3日前に開催する。(土日及び祝日の時は前日開催)

(2) 一般質問

- ・通告書提出期限…………… 議運開催日2日前の正午まで。(受付は通告書提出期限の1週間前からとする。)ただし3月定例会については、議運開催日の午前10時までとする。
- ・質問通告書の記載内容…………… 質問要旨はできるだけ詳細に記載し、確答を得られるよう配慮するものとする。
- ・質問方式及び時間…………… 一問一答方式で、初回のみ登壇し、一括質問一括答弁とする。また、時間は質疑答弁合計50分以内とする。
- ・発言の順序…………… 通告受付順とする。

(3) 予算の審査

- ・一般、特別、企業会計とも予算特別委員会に付託し審査する。

(4) 決算の審査

- ・一般、特別、企業会計とも9月定例会で決算特別委員会に付託し審査する。

(5) 請 願

- ・提出期限は、議運開催日2日前の正午とし、それ以降に提出されたものは、次の定例会で審査する。
- ・請願文書表は、全文記載する。

(6) 陳情・要望

- ・陳情書、要望書についてはコピーしたものを配布のみとする。

5 印 刷 物

(1) 会 議 録

- ・業者に委託 ・ A4判 横2段組 ・ 70部作成 ・ 予算990千円

(2) 議 会 報

- ・年4回 定例会毎に発行(臨時号発行もある)
- ・11,500部発行(地区長を通じて市内全世帯に配布)・予算1,297千円
- ・編集は、常任委員会毎に選出された議会報編集委員6人によるものとする。

6 特別職報酬及び給料

(単位:千円)

職名	H元年4.1 改正	2.4.1 改正	4.4.1 改正	6.6.1 改正	9.4.1 改正	18.9.21 改正	27.4.1 改正	30.10.1 改正	R4.10.1 改正
議長	340	360	400	425	435				
副議長	305	322	355	375	385				
議員	285	300	330	350	360				
市長	700	770	850	900	920	① (460)	③ (828)	④ (828)	⑤ (828)
副市長 (H19.4.1~)	535	580	640	680	695	① (347)			
収入役	460	500	540	580	595	18.10.1~ 廃止			
教育長 (給料)	440	470	510	540	550	② 18.12.21改正 (385)			

※①市長・副市長の()は減額時の報酬額。H18.9.1~H22.7.29まで50%を減額。

②教育長の()は減額時の給料額。H18.12.1~H22.7.29まで30%を減額。

③市長()は減額時の報酬額。H27.4.1~H30.7.29まで10%を減額。

④市長()は減額時の報酬額。H30.10.1~R4.7.29まで10%を減額。

⑤市長()は減額時の報酬額。R4.10.1~R8.7.29まで10%を減額。

区分	期末手当		
	6月	12月	計
支給割合	$\frac{162.5}{100}$	$\frac{162.5}{100}$	$\frac{325.0}{100}$
加算割合	$\frac{140}{100}$		

(令和4年11月30日改正)

7 旅費・調査費・その他

○ 調査旅費

・ 常任委員会	1人年額	120,000円
・ 議会運営委員会	〃	120,000円
・ 議会報編集委員会	〃	70,000円

○ 補助金

・ 政務活動費 1人月額10,000円 5月に当該年度分を会派に交付

○ 費用弁償

区分	日当(1日)	宿泊料(1夜)	車賃(1km)
議長・市長	3,000円	14,800円	37円
副議長・副市長	2,700円	13,100円	
議員	2,600円		

○ 交際費 ・ 議会 800千円 ・ 市 1,300千円

8 歴代議長

代位	氏名	生年月日	就任年月日	退任年月日
初代	長嶋松五郎	M. 37. 11. 10	S. 42. 4. 1	S. 43. 3. 31
2	長島総兵衛	M. 43. 4. 30	43. 4. 12	47. 3. 31
〃	〃	〃	47. 4. 7	49. 4. 8
3	青木清信	M. 43. 3. 3	49. 4. 8	51. 3. 31
〃	〃	〃	51. 4. 8	53. 2. 4
4	小川宮次	M. 35. 11. 28	53. 2. 8	53. 4. 3
〃	〃	〃	53. 4. 3	55. 3. 31
5	山口五三郎	T. 8. 3. 28	55. 4. 8	57. 4. 5
〃	〃	〃	57. 4. 5	59. 3. 31
〃	〃	〃	59. 4. 6	61. 4. 2
〃	〃	〃	61. 4. 2	63. 3. 31
6	高橋吉美	T. 14. 11. 7	63. 4. 5	H. 2. 4. 5
〃	〃	〃	H. 2. 4. 5	4. 3. 31
〃	〃	〃	4. 4. 7	6. 4. 5
7	荒井幸昭	S. 15. 6. 23	6. 4. 5	8. 3. 31
〃	〃	〃	8. 4. 5	10. 4. 6
8	渡部敬	S. 6. 8. 3	10. 4. 6	12. 3. 31
9	小林啓市	S. 11. 9. 12	12. 4. 7	14. 4. 5
10	栗原晴峰	S. 22. 4. 14	14. 4. 5	16. 3. 31
11	塩田秀雄	S. 27. 12. 11	16. 4. 7	18. 4. 7
12	小野健一郎	S. 18. 9. 3	18. 4. 7	20. 3. 31
13	伊藤俊美	S. 16. 2. 10	20. 4. 4	22. 4. 6
〃	〃	〃	22. 4. 6	24. 3. 31
14	遠藤榮吉	S. 33. 8. 25	24. 4. 4	26. 4. 4
〃	〃	〃	26. 4. 4	28. 3. 31
15	田中貞一	S. 26. 1. 26	28. 4. 6	30. 4. 6
16	高橋弘	S. 21. 10. 17	30. 4. 6	R. 2. 3. 31
17	高橋篤	S. 27. 1. 16	R. 2. 4. 6	4. 4. 5
18	船山利美	S. 29. 2. 22	4. 4. 5	在職中

9 歴代副議長

代位	氏名	生年月日	就任月日	退任月日
初代	船山新助	M. 31. 8. 8	S. 42. 4. 1	S. 43. 3. 31
2	遠藤東平	T. 5. 11. 7	43. 4. 12	47. 3. 31
〃	〃	〃	47. 4. 7	49. 4. 8
3	須貝庄作	M. 41. 12. 16	49. 4. 8	50. 4. 4
4	佐藤忠三郎	M. 42. 10. 17	50. 5. 13	51. 3. 31
〃	〃	〃	51. 4. 8	53. 4. 3
5	小林富市	M. 42. 1. 20	53. 4. 3	55. 3. 31
6	武田三郎	S. 4. 8. 22	55. 4. 8	57. 4. 5
〃	〃	〃	57. 4. 5	59. 3. 31
7	高野真雄	T. 4. 11. 20	59. 4. 6	61. 4. 2
8	高橋吉美	T. 14. 11. 7	61. 4. 2	63. 3. 31
9	加藤馨	S. 6. 10. 20	63. 4. 5	H. 2. 4. 5
10	嶋貫幸男	S. 3. 3. 15	H. 2. 4. 5	4. 3. 31
11	大坂正十四	T. 14. 9. 22	4. 4. 7	6. 4. 5
12	岩井一敏	S. 16. 1. 27	6. 4. 5	8. 3. 31
13	渡部敬	S. 6. 8. 3	8. 4. 5	10. 4. 6
14	五十嵐諒	S. 22. 2. 13	10. 4. 6	12. 3. 31
15	殿岡和郎	S. 14. 10. 2	12. 4. 7	14. 4. 5
16	小野田貞一	S. 5. 2. 24	14. 4. 5	16. 3. 31
17	伊藤俊美	S. 16. 2. 10	16. 4. 7	18. 4. 7
18	鈴木英昭	S. 17. 9. 14	18. 4. 7	20. 3. 31
19	桑原仁	S. 23. 2. 05	20. 4. 4	22. 4. 6
〃	〃	〃	22. 4. 6	24. 3. 31
20	田中貞一	S. 26. 1. 26	24. 4. 4	26. 4. 4
21	高橋篤	S. 27. 1. 16	26. 4. 4	28. 3. 31
22	高橋弘	S. 21. 10. 17	28. 4. 6	30. 4. 6
23	川合猛	S. 22. 1. 25	30. 4. 6	R. 2. 3. 31
24	船山利美	S. 29. 2. 22	R. 2. 4. 6	2. 4. 5
25	梅川信治	S. 24. 7. 29	4. 4. 5	在職中

10 歴代事務局長

代位	氏名	就任月日	退任月日	摘要
初代	山田 貞雄	S.42. 4. 1	S.47. 3. 31	
2	阿部 内蔵之助	47. 4. 1	52. 3. 31	
3	清水 辰雄	52. 4. 1	54. 3. 31	
4	斎藤 武	54. 4. 1	61. 3. 31	
5	竹田 光雄	61. 4. 1	62. 5. 31	
6	志藤 和光	62. 6. 1	H. 1. 3. 31	
7	笹木 明夫	H. 1. 4. 1	4. 3. 31	
8	桑原 弘	4. 3. 31	6. 3. 31	
9	平 宮雄	6. 4. 1	8. 3. 31	
10	清水 勝美	8. 4. 1	10. 3. 31	
11	長岡 昭広	10. 4. 1	15. 3. 31	
12	鈴木 勝	15. 4. 1	17. 3. 31	
13	樋口 一志	17. 4. 1	18. 3. 31	
14	佐藤 正昌	18. 4. 1	20. 3. 31	
15	須藤 公一	20. 4. 1	22. 3. 31	
16	斉藤 彰助	22. 4. 1	24. 3. 31	
17	中條 晴雄	24. 4. 1	25. 3. 31	
18	大沼 豊広	25. 4. 1	26.12.31	
19	尾形 真人	27. 1. 1	30. 3. 31	
20	高梨 敏彦	30. 4. 1	R. 3. 3. 31	
21	安部 真由美	R. 3. 4. 1	在職中	

11 議会事務局

(1) 構成及び人員 【定数6人】 【現員数4人】

事務局長 — 事務局長補佐 — 庶務係長 — 書記1人
 (議事係長)

○ 職員数 (令和5年4月1日現在)

	市長 部局	議会	教委	農委	選挙	監査	公営	合計
定数	271	6	87	8	3	3	23	401
職員数	200	4	52	4	2	2	18	282

(2) 議会棟の現況 昭和57年4月25日竣工

○ 議会棟面積等

議席	30席	議長・副議長室	36.5 m ²
執行部席	30席	議長公室	71.5 m ²
速記者席	2席	議員控室(1室)	113.0 m ²
一般傍聴席	41席	議員全員協議会室	109.5 m ²
記者席	5席	委員会室(2室)	74.0 m ²
事務室	39.8 m ²	図書室	39.0 m ²
議場	217.5 m ²	モニタ一室	12.5 m ²
		傍聴席	61.5 m ²

Ⅲ 議会活動状況(令和4年分)

1 議会開催状況

区分	会期日程	会期日数	本会議日数	議案件数			決議態様						本会議時間数	
				市長提案	議員提案	計	可決	同意	認定	承認	撤回	その他		
定例会	3月	2月28日 ～3月17日	18	4	32	2	34	26	3		3		2	7:51
	6月	6月6日 ～21日	16	4	14	2	16	8	2		1		5	5:12
	9月	9月1日 ～21日	21	4	21		21	9	3	8			1	7:03
	12月	11月30日 ～ 12月21日	22	4	16		16	15	1					5:53
	小計		77	16	83	4	87	58	9	8	4		8	25:59
臨時会	1回	4月5日	1	1	1	4	5		1				4	0:59
	2回	4月21日	1	1	4		4	4						0:34
	3回	10月21日	1	1	2		2	1			1			0:16
	小計		3	3	7	4	11	5	1		1		4	1:49
合計		80	19	90	8	98	63	10	8	5		12	27:48	

2 議案提出状況

区 分		議 決 事 件										
		条 例	予 算	決 算	意 見 書	決 議	専決処分		同 意	契 約	そ の 他	合 計
							条例	予算				
定 例 会	3月	6	15			2		3	2		6	34
	6月	1	2		1			1	2		9	16
	9月	3	5	8					2		3	21
	12月	3	7						1		5	16
	小計	13	29	8	1			4	7		23	87
臨 時 会	1回								1		4	5
	2回	3	1									4
	3回		1					1				2
	小計	3	2					1	1		4	11
合 計		16	31	8	1			5	8		28	98

3 議案・議決状況

(1) 市長提出付議事件数

区	分	原案可決	修正可決	否決	継続審議	審議未了	撤回	件数合計
地方自治法第96条1項議決事件	条 例(1号)	16						16
	予 算(2号)	31						31
	決 算(3号)	8						8
	4号から14号までの議案	2						2
専 決 処 分 案 件		5						5
地方自治法第96条1項15号及び96条2項を含むその他すべての議案		28						28
合 計		90						90

(2) 議員提出付議事件数

区 分	原案可決	修正可決	否 決	継続審議	審議未了 撤 回 そ の 他	合 計
条 例						
規 則						
意 見 書	1					1
決 議	2					2
そ の 他	5					5
合 計	8					8

4 請願処理状況

採 択	不採択	翌年へ繰越	取り下げ	審議未了	受案件数
					0

5 一般質問者数

3月定例会 (2日)	6月定例会 (2日)	9月定例会 (2日)	12月定例会 (2日)	合 計 (8日)
7人	6人	7人	6人	26人

6 傍聴者数

(報道関係者除く)

3 月 定例会	6 月 定例会	9 月 定例会	12 月 定例会	臨時会	合 計
8人	6 人	6 人	2 人	5 人	27人

7 一般質問

3月定例会

質問者	質問事項
山口 裕 昭	1. 人口減少に対する対応 2. 子どもの貧困と相対的貧困率について
島 津 善衛門	1. 市民要望が高い、屋内遊戯場・屋内多目的運動場・公認陸上競技場の施設整備の考え方 2. 行政の働き方改革とIT化
片 平 志 朗	1. 食品ロス削減の推進について 2. 小学校の教科担任制のあり方について
高 橋 一 郎	1. スポーツ王国NANYOをめざした施策について
佐 藤 明	1. オミクロン株拡大対策と生活と営業を守る対策を
板 垣 致江子	1. HPVワクチン（子宮頸がんワクチン）の積極的勧奨について 2. 消防団員の報酬引き上げについて
高 岡 亮 一	1. 「コロナ禍」をどう見るか 2. ワクチン接種について

6月定例会

質問者	質問事項
佐 藤 憲 一	1. 地域おこし協力隊について
山 口 裕 昭	1. 有事における市民の安全確保について 2. 今後の観光振興について
島 津 善衛門	1. 「教育委員会の考え方」を保護者からの率直な疑問2点と財政課の南陽市公共施設等総合管理計画に関連して 2. 農地の再生 逆転の発想を
高 橋 一 郎	1. 気候変動の影響と治水計画の見直し「流域治水プロジェクト」について 2. 非核平和のタベ事業について
佐 藤 明	1. 市長選挙と白岩市政の政治姿勢について 2. 物価高騰から暮らしを守るやさしく強い経済対策を

質 問 者	質 問 事 項
高 岡 亮 一	1. 宮内公民館改築について 2. NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に関連して

9月定例会

質 問 者	質 問 事 項
山 口 裕 昭	1. 全国的な人口減少に伴う対応策について
高 橋 弘	1. 南陽市の防災行政について 2. 南陽市の道路行政について 3. 日本の食料自給率37%について
片 平 志 朗	1. 鳥獣被害対策のあり方について 2. 災害時の避難支援のあり方について
島 津 善 衛 門	1. 「南陽市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 2. 「2022全国一斉学力テスト」の結果
高 岡 亮 一	1. 正常な世の中に戻すために
高 橋 一 郎	1. 非核平和都市宣言に関する事業について 2. 旧統一教会に関する事業について 3. 災害対策について
佐 藤 明	1. 白岩市政3期目の市政運営全般について

12月定例会

質 問 者	質 問 事 項
山 口 裕 昭	1. 大人の発達障害について 2. 障害者控除対象者認定書の交付について
伊 藤 英 司	1. 子育て支援について 2. HPVワクチンについて
島 津 善 衛 門	1. 「地区長会の役割と改革」 2. 「2022全国一斉学力テスト」の結果
佐 藤 明	1. 介護保険について 2. 来年度予算編成と重要施策について
板 垣 致 江 子	1. 子どもたちの健やかな成長のために 2. 生理用品の常備や配布について

質 問 者	質 問 事 項
高 岡 亮 一	1. 食糧危機に備えるために 2. 新型コロナワクチン接種の副反応について

8 議員発議状況及び審査結果

区 分	発議番号	件 名	審査結果
3月定例会	第1号	ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議	原案可決
3月定例会	第2号	高岡亮一議員に対する問責決議	原案可決
6月定例会	第3号	営農継続のための施策の見直しと支援の充実に関する意見書の提出について	原案可決
6月定例会	第4号	南陽市議会 I C T 推進特別委員会の設置について	原案可決

9 請願審査結果 提出請願なし

10 各常任委員会等行政視察状況

委 員 会 名	視 察 地	視 察 事 項
総務常任委員会 11月14日	衆議院 第一議員会館 国会議事堂	1. マイナンバー制度の概要と自治体業務へ影響について 1. 国会議事堂視察
文教厚生常任委員会 令和5年1月25日 ～27日	神奈川県三浦市 神奈川県大和市	1. 「子育て支援施策」について 1. 「こもりびと支援条例」（ひきこもり支援施策）について
議会運営委員会 10月12日～14日	鹿児島県曾於市 鹿児島県始良市	1. 議会の I C T 化とタブレット導入について 1. 議会運営（改革）について

1 1 行政視察来市状況

月 日	議 会 名	調 査 事 項	人数 (内随行)
7月 5日	茨城県守谷市	1. 南陽市役所ラーメン課 R&R プロジェクトについて	5(0)
7月 6日	愛知県東海市	1. 木を生かした文化拠点づくりについて	11(0)
7月 11日	神奈川県小田原市	1. まちづくりに向けた取組について	9(1)
7月 12日	広島県福山市	1. 地域公共交通「おきタク」について	7(0)
7月 13日	栃木県那須塩原市	1. 南陽高校市役所部、おきタクについて	6(0)
7月 14日	香川県東かがわ市	1. 地域公共交通について	6(0)
10月 4日	熊本県宇城市	1. 温泉施設譲渡に向けた経緯と現状	7(2)
10月 20日	沖縄県糸満市	1. 自治体 DX 推進の取組について	7(1)
1月 24日	茨城県取手市	1. 地域公共交通「おきタク」について	3(0)

IV 行 財 政

1 歴代市長

代 位	氏 名	生 年 月 日	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日	摘 要
職 務 執 行 者	佐 藤 義 一	M. 35. 11. 3	S. 42. 4. 1	S. 42. 4. 17	S. 42. 4. 1 市制施行
初 代	〃	〃	S. 42. 4. 28	S. 50. 3. 29	
2	遠 藤 東 平	T. 5. 11. 7	S. 50. 4. 28	S. 53. 3. 10	
3	須 藤 直 一 郎	M. 39. 11. 22	S. 53. 4. 16	S. 53. 6. 15	
4	新 山 昌 孝	T. 15. 6. 8	S. 53. 7. 30	S. 61. 7. 29	
5	大 竹 俊 博	S. 14. 12. 2	S. 61. 7. 30	H. 10. 7. 29	
6	荒 井 幸 昭	S. 15. 6. 23	H. 10. 7. 30	H. 18. 7. 29	
7	塩 田 秀 雄	S. 27. 12. 11	H. 18. 7. 30	H. 26. 7. 29	
8	白 岩 孝 夫	S. 44. 1. 29	H. 26. 7. 30	在 職 中	

2 歴代助役（～H19. 3. 31）・副市長（H19. 4. 1～）

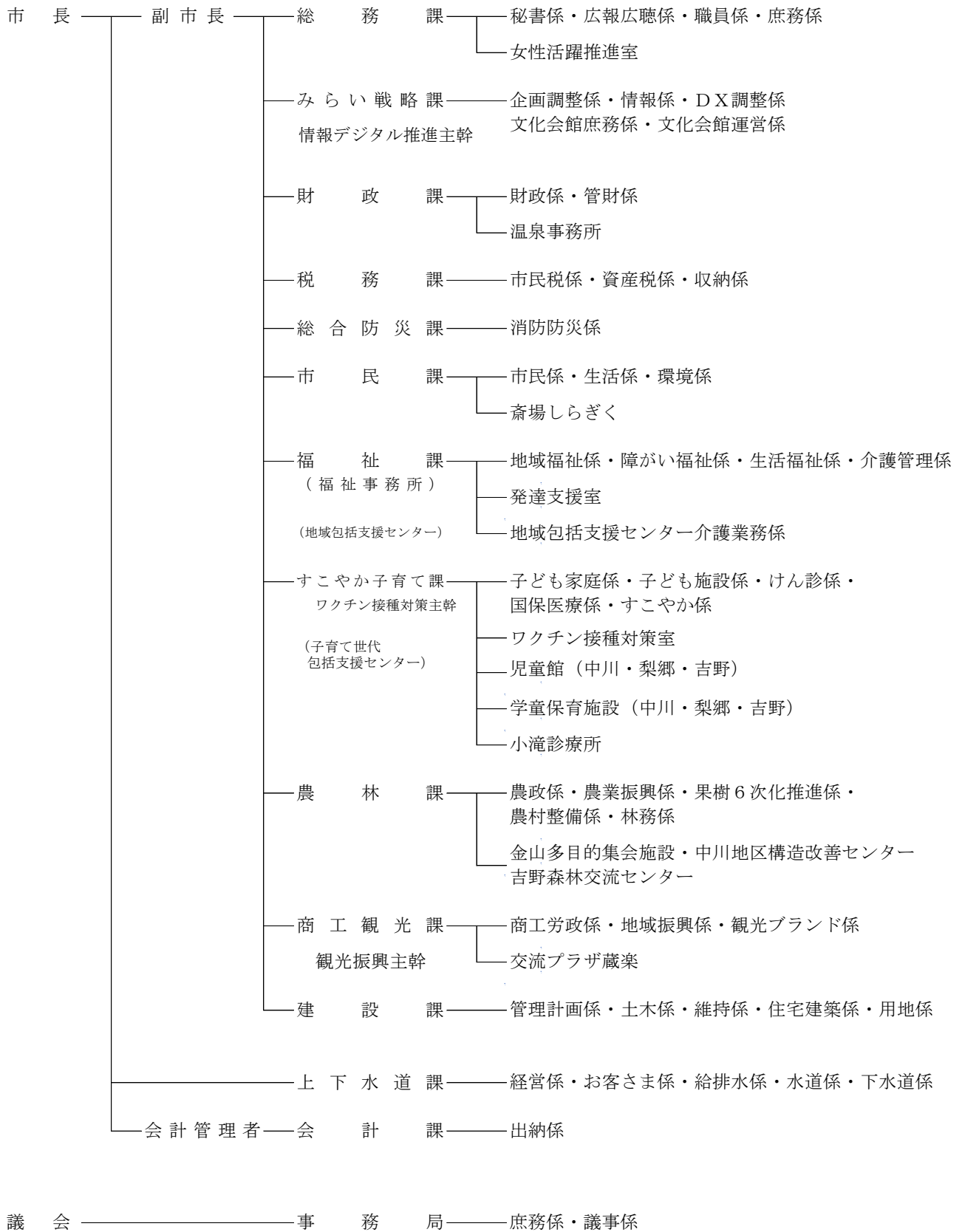
代 位	氏 名	生 年 月 日	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日	摘 要
初 代	三 浦 玄 一	M. 44. 10. 15	S. 43. 11. 1	S. 51. 10. 31	
2	鈴 木 繁 次	T. 8. 3. 18	S. 53. 1. 1	S. 53. 2. 2	
3	村 山 純 一	T. 12. 11. 12	S. 53. 6. 1	S. 61. 5. 31	
4	滝 澤 政	S. 3. 10. 11	S. 62. 6. 1	H. 7. 3. 31	
5	笹 木 明 夫	S. 9. 2. 8	H. 7. 4. 1	H. 9. 3. 31	
6	高 山 和 夫	S. 12. 3. 15	H. 9. 5. 1	H. 13. 4. 30	
7	大 場 忠 夫	S. 20. 11. 20	H. 15. 4. 1	H. 18. 7. 29	
8	柴 田 誠	S. 20. 1. 29	H. 18. 10. 1	H. 22. 9. 30	
9	安 達 正 司	S. 27. 4. 2	H. 23. 4. 1	H. 26. 7. 29	
10	大 沼 豊 広	S. 30. 2. 3	H. 27. 1. 1	在 職 中	

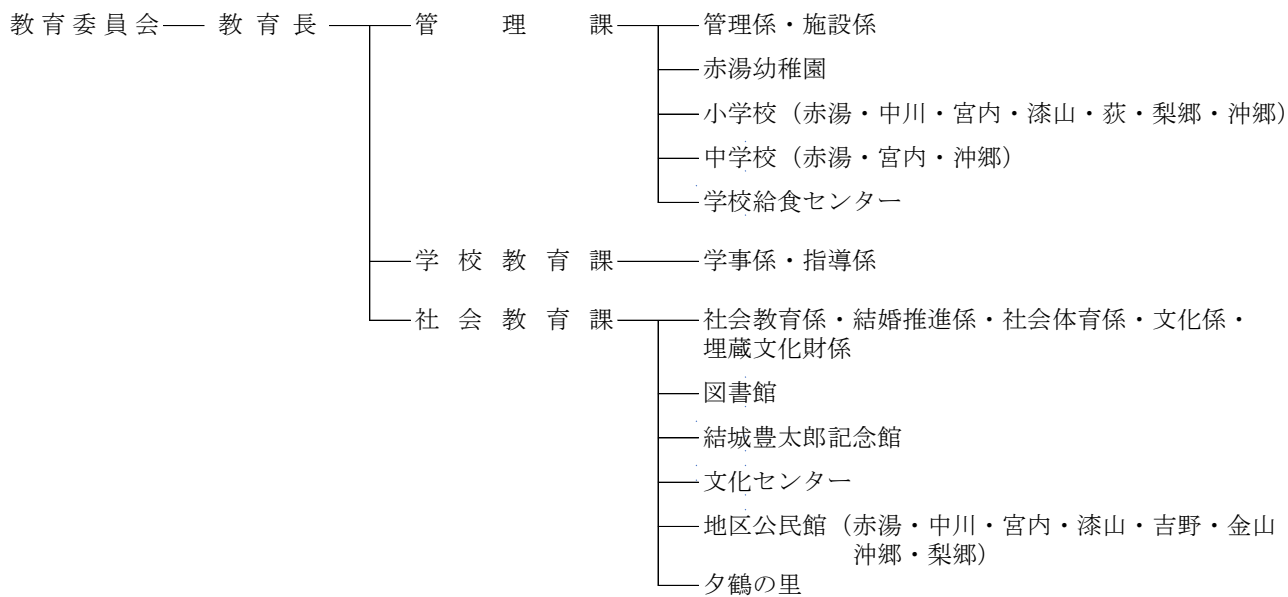
3 歴代収入役

代 位	氏 名	生 年 月 日	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日	摘 要
初 代	近 野 伊 重	M. 40. 5. 13	S. 42. 7. 1	S. 46. 6. 30	
2	新 山 清 一	T. 4. 2. 15	S. 46. 10. 1	S. 50. 9. 30	
3	佐々木 富次郎	T. 7. 6. 11	S. 50. 10. 1	S. 54. 9. 30	
4	殿 岡 廣 司	T. 12. 2. 8	S. 55. 4. 1	S. 61. 8. 31	
5	滝 澤 政	S. 3. 10. 11	S. 61. 10. 1	S. 62. 5. 31	
6	竹 田 光 雄	S. 4. 7. 29	S. 62. 6. 1	H. 5. 3. 31	
7	笹 木 明 夫	S. 9. 2. 8	H. 5. 4. 1	H. 7. 3. 31	
8	後 藤 武 夫	S. 15. 8. 15	H. 7. 4. 1	H. 15. 3. 31	
9	齋 藤 誠 一	S. 19. 10. 31	H. 15. 4. 1	H. 18. 7. 29	

南陽市行政機構図

令和5年4月1日





選挙管理委員会 —— 事 務 局 —— 選挙係

監 査 委 員 —— 事 務 局 —— 監査係

農 業 委 員 会 —— 事 務 局 —— 農地係・振興係

固定資産評価審査委員会

5 令和5年度 議会費（当初予算）

（単位：千円）

区 分(節)	令和5年度		令和4年度		比較 増減	対前年 増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1 報 酬	74,640	43.0	74,640	43.1	0	0.0
2 給 料	17,872	10.3	17,906	10.3	△34	△0.2
3 職員手当等	37,151	21.4	37,112	21.5	39	0.1
4 共 済 費	29,123	16.8	29,441	17.0	△318	△1.1
7 報 償 費	205	0.1	192	0.1	13	6.8
8 旅 費	5,934	3.4	5,941	3.4	△7	△0.1
9 交 際 費	800	0.5	800	0.5	0	0.0
10 需 用 費	1,991	1.2	1,694	1.0	297	17.5
11 役 務 費	207	0.1	207	0.1	0	0.0
12 委 託 料	1,056	0.6	990	0.6	66	6.7
13 使用料及び賃借料	1,631	0.9	1,195	0.7	436	36.5
17 備品購入費	32	0.0	32	0.0	0	0.0
18 負担金補助 及び交付金	2,874	1.7	2,868	1.7	6	0.2
合 計	173,516	100.0	173,018	100.0	498	0.3

6 令和5年度 一般会計（当初予算）

歳 入

（単位：千円）

区 分	令和5年度		令和4年度		比較増減	対前年 増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1 市 税	3,522,452	20.8	3,489,893	21.9	32,559	0.9
2 地方譲与税	143,198	0.9	143,555	0.9	△ 357	△ 0.2
3 利子割交付金	2,000	0.0	2,000	0.0	0	0.0
4 配当割交付金	7,000	0.0	7,000	0.0	0	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	8,000	0.0	8,000	0.1	0	0.0
6 法人事業税交付金	50,000	0.3	42,000	0.3	8,000	19.0
7 地方消費税交付金	745,000	4.4	715,000	4.5	30,000	4.2
8 環境性能割交付金	12,000	0.1	13,000	0.1	△ 1,000	△ 7.7
9 地方特例交付金	25,000	0.1	25,000	0.2	0	0.0
10 地方交付税	4,563,000	27.0	4,506,800	28.3	56,200	1.2
11 交通安全対策特別交付金	4,500	0.0	4,500	0.0	0	0.0
12 分担金及び負担金	95,613	0.6	93,989	0.6	1,624	1.7
13 使用料及び手数料	126,842	0.8	115,192	0.7	11,650	10.1
14 国庫支出金	2,432,137	14.4	2,072,843	13.0	359,294	17.3
15 県支出金	1,273,285	7.5	1,290,825	8.1	△ 17,540	△ 1.4
16 財産収入	19,007	0.1	18,123	0.1	884	4.9
17 寄附金	1,005,835	5.9	1,007,900	6.3	△ 2,065	△ 0.2
18 繰入金	1,291,000	7.6	1,138,790	7.1	152,210	13.4
19 繰越金	200,000	1.2	200,000	1.3	0	0.0
20 諸収入	183,431	1.1	200,490	1.3	△ 17,059	△ 8.5
21 市債	1,212,700	7.2	835,100	5.2	377,600	45.2
合 計	16,922,000	100.0	15,930,000	100.0	992,000	6.2

歳 出

(単位:千円)

区 分	令和5年度		平成4年度		比較増減	対前年 増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1 議 会 費	173,516	1.0	173,018	1.1	498	0.3
2 総 務 費	2,763,965	16.3	2,748,439	17.3	15,526	0.6
3 民 生 費	5,269,666	31.1	5,353,952	33.6	△ 84,286	△ 1.6
4 衛 生 費	1,227,026	7.3	1,303,650	6.5	196,376	19.1
5 労 働 費	41,514	0.3	75,334	0.5	△ 33,820	△ 44.9
6 農林水産業費	578,784	3.4	585,054	3.7	△ 6,270	△ 1.1
7 商 工 費	375,270	2.2	373,288	2.3	1,982	0.5
8 土 木 費	2,609,224	15.4	1,696,821	10.6	912,403	53.8
9 消 防 費	690,652	4.1	647,928	4.1	42,724	6.6
10 教 育 費	1,619,666	9.6	1,684,553	10.6	△ 64,887	△ 3.9
11 災害復旧費	37,740	0.2	37,740	0.2	0	0.0
12 公 債 費	1,514,970	9.0	1,503,216	9.4	11,754	0.8
13 諸 支 出 金	7	0.0	7	0.0	0	0.0
14 予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
合 計	16,922,000	100.0	15,930,000	100.0	992,000	6.2

7 令和5年度 各会計予算

(一般会計・特別会計)

(単位：千円)

区 分		令和5年度 当初予算額	令和4年度 当初予算額	比較増減	
				予算額	増減率(%)
一般会計		16,922,000	15,930,000	992,000	6.2
特別 会計	国民健康保険特別会計	3,353,411	3,338,561	14,850	0.4
	財産区特別会計	128,784	109,799	18,985	17.3
	育英事業特別会計	3,419	4,114	△ 695	△ 16.9
	介護保険特別会計	3,732,381	3,723,133	9,248	0.2
	後期高齢者医療特別会計	424,391	424,500	△ 109	0.0
	小 計	7,642,386	7,600,107	42,279	0.6
合 計		24,564,386	23,530,107	1,034,279	4.4

(企業会計)

(単位：千円)

区 分			令和5年度 当初予算額	令和4年度 当初予算額	比較増減	
					予算額	増減率(%)
水道事業	収益的収支	収入	818,496	829,727	△ 11,231	△ 1.4
		支出	805,002	809,257	△ 4,255	△ 0.5
	資本的収支	収入	61,044	61,191	△ 147	△ 0.2
		支出	380,674	351,404	29,270	8.3
※資本的収支の差については、損益勘定留保資金、建設改良積立金、消費税及び地方消費税、資本的収支調整額で補填						
下水道事業	収益的収支	収入	1,079,113	1,026,262	52,851	5.1
		支出	1,101,652	1,017,964	83,688	8.2
	資本的収支	収入	978,467	898,587	79,880	8.9
		支出	1,354,942	1,268,677	86,265	6.8
※資本的収支の差については、損益勘定留保資金、消費税及び地方消費税、資本的収支調整額で補填						

8 令和5年度 一般会計歳出予算（性質別予算）

（単位：千円）

区 分	令和5年度当初		令和4年度当初		比較増減 (A)-(B)
	予算額(A)	構成比 (%)	予算額(B)	構成比 (%)	
人件費	2,758,514	16.3	2,757,583	17.3	931
物件費	2,025,763	12.0	1,816,073	11.4	209,690
維持補修費	277,459	1.6	251,609	1.6	25,850
扶助費	3,237,685	19.1	3,262,059	20.5	△ 24,374
補助費等	3,266,296	19.3	3,291,419	20.7	△ 25,123
普通建設事業費	1,925,534	11.4	1,084,624	6.8	840,910
災害復旧事業費	37,740	0.2	37,740	0.2	0
公債費	1,514,959	9.0	1,503,205	9.4	11,754
積立金	459,703	2.7	498,975	3.1	△ 39,272
投資及び出資金					
貸付金	30,000	0.2	40,000	0.3	△ 10,000
繰出金	1,368,347	8.1	1,366,713	8.6	1,634
予備費	20,000	0.1	20,000	0.1	0
合 計	16,922,000	100.0	15,930,000	100.0	992,000
特定財源	6,505,772	38.4	5,733,539	36.0	772,233
一般財源	10,416,228	61.6	10,196,461	64.0	219,767



令和5年4月作成